

和歌の浦万葉薪能の会20周年記念事業

# 野村萬齋狂言会

平成31年 **3月7日** (木)

和歌山県民文化会館  
(大ホール)

開場:午後6:00  
開演:午後6:30



## 演目

解説 野村萬齋

佐渡狐 佐渡の百姓 中村修一  
(さとうきつね) 越後の百姓 内藤 達  
奏者 深田博治  
後見 飯田 泰

首引 親虎 野村萬齋  
(くびひき) 鎮西八郎為朝 野村裕基  
春原 高野和憲  
" 飯田 泰  
親虎 野村太一郎  
春原 内藤 達  
" 石田 淡朗  
後見 深田博治



## 入場料

\*未就学児入場不可

一階指定席 5,500円 (小・中・高生2,700円)  
二階指定席 4,000円 (小・中・高生2,000円)

## チケット販売所

・和歌山県民文化会館 073-436-1331  
・ローソンチケット(Lコード: 51570)  
(PC・モバイル) <http://l-tike.com/>  
(電話) 0570-084-005

・チケットぴあ (Pコード: 490631)

【一般販売】平成30年12月22日(土)

【お問い合わせ】NPO法人 和歌の浦万葉薪能の会 TEL.090-1967-3084



# 演目

解説 野村萬齋

## 佐渡狐

佐渡の百姓 中村修一

越後の百姓

内藤 連

奏者 深田博治

後見 飯田 豪

## 首引

親鬼 野村萬齋

鎮西八郎為朝

野村裕基

姫鬼 野村太一郎

眷属 高野和憲

” 内藤 連

” 飯田 豪

” 石田 淡朗

後見 深田博治

# あらすじ

## 佐渡狐 (さどぎつね)

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになった佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐のいるいなを巡り賭けをすることになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者(取次の役人)にワイロを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はいる」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を聞いたされ…。越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころです。世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

## 首引 (くびひき)

播磨の印南野を通りかかった鎮西八郎為朝の前に鬼が現れる。娘の姫鬼に人の食い初めをさせたいという鬼に、為朝は、姫と勝負して負けたら食われよう、と提案する。親鬼は恥ずかしがる姫を説得して腕押し・すね押しをさせるが、豪傑無双の為朝にはかなわない。苦戦する我が子に気がでない親鬼は、ある策を思いつき…。源為朝は源頼朝や義経の叔父にあたり、保元の乱の活躍で有名な武将です。豪胆な英雄に対し、可憐な姫鬼を華麗かつ懸命に応援する親鬼。人以上に子煩悩な鬼の姿に、思わず顔がほころびます。さて、この勝負の行方は？



野村 萬齋 のむら まんさい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ごころ乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝一』『国盗人』『子午線の祀り』など古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊国屋演劇賞等受賞。「子午線の祀り」の再演で2017年度毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。2018年7月、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開会式・開会式のチーフ・エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクターに就任した。



深田 博治 ふかた ひろはる

1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざむん座」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』『金剛』等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。



高野 和憲 たかの かずのり

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言ざむん座」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター・新国立劇場演劇研修所をはじめ、全国各地での狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。



中村 修一 なむら しゅういち

1989年生。野村万作に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。9歳で入門後、幼少より舞台に立ち、『三番叟』『奈須与市語』を抜く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、早稲田大学、東京女子大学、共立女子大学の狂言サークルを指導している。



内藤 連 ないとう れん

1986年生。野村万作に師事。成城大学経済学部卒業。国立能楽堂・能楽三役第八期研修修了。能楽協会会員。これまでに『奈須与市語』『三番叟』を抜く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、東京大学、お茶の水女子大学、成城大学の狂言サークルを指導している。



飯田 豪 いいだ ほう

1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。既に「面箱」を抜く。



野村太一郎 のむら たいちろう

1990年生。2017年より野村萬齋に師事。故五世野村万之丞の長男。能楽協会会員。3歳の時に『観音』で初舞台。既に『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を抜く。「MUGEN能」同人。



野村 裕基 のむら ゆうき

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。3歳の時に『観音』で初舞台後、『伊呂波』『痺』『金津地蔵』『井枕』『重喜』『魚説法』のシテ、『鳩牛』太郎冠者、『二人袴』髭などを勤め、修業を続け、2017年『三番叟』を抜く。



石田 淡朗 いしだ たんろう

1987年生。石田幸雄の長男。野村万作に師事。3歳で初舞台後、狂言・能の舞台で子方を勤める。ギルドホール音楽演劇学校(英国)卒業。